

人と生きものの共生を目指す



# 麻機遊水地保全活用推進協議会

麻機遊水地は、巴川の治水施設として昭和50年より整備がはじまりました。造成工事で掘り起こされたことによって蘇った湿地性の植物や、池に棲む魚類、水生昆虫、それらを餌とする野鳥など、多くの動植物が生息・生育する湿地環境となっています。

この自然環境を保全・再生するために、平成16年1月に「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会（現：麻機遊水地保全活用推進協議会）」を設立し、自然再生事業に取り組んできました。

近年では、自然再生だけでなく、自然を利活用する取組みにも力を入れています。特に障害者、高齢者の方々も自然を楽しめるような場所づくりや、自立支援の場の創出なども検討しながら、取組みを進めています。

その取組みの1つとして、毎年「麻機遊水地フェスタ」というイベントを開催しています。「麻機遊水地フェスタ」は、遊水地の魅力を発信するため、地域の方や企業、福祉施設、支援学校などの方々と連携し、遊水地で楽しめる様々な催しを行っているイベントです。

